

企画展「人々を^{たす}援け寄り添う神と仏―道釈人物画の世界―」

2025 年 11 月 22 日（土）～2026 年 1 月 18 日（日）

前期：11 月 22 日（土）～12 月 21 日（日）

後期：12 月 23 日（火）～2026 年 1 月 18 日（日）

公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館



1 《七福神図》島野春彰 昭和・20 世紀

【概要】

お正月や端午の節句などに登場する、七福神や鍾馗などの神や仏がいます。お寺や神社の奥深くにいるのではなく、人々の暮らしに溶け込みながら存在していました。現代ではあまり出会わなくなりつつありますが、江戸時代から昭和の初め頃には、掛軸や節句人形、瓦人形などに表現され、人々の願いに応えてきました。

本展では、七福神や鍾馗などの民間信仰の神とともに、仏教の仏である普賢菩薩や文殊菩薩、禅宗で祀られた親しみのある姿の布袋、異国情緒を醸し出す奇怪な風貌の羅漢など、道教や仏教の神仏や人物を描いた「道釈人物画」を取り上げ、私達人間のそばに寄り添い、災厄を払い、願いを叶え、ある時には生きる姿勢を示してくれた神や仏の姿を紹介します。

【展示作品】約 60 件。他に「瓦鍾馗」写真パネル約 50 件。

※一部展示替えあり

【第1章】七福神

おなじみの七福神。それぞれの神様のご利益や来歴は意外と知らないことが多いのではないのでしょうか。ここでは、七福神一人一人を大解剖。一緒にいる動物や服装の特徴、「寿老人」と「福祿寿」の違いは？など、解き明かしていきます。



2 《錆絵寿老図六角皿》
尾形乾山作、尾形光琳絵付



3 《正月用引札：恵比寿大黒と美人図》【前期展示】



4 《福祿寿三星図（刺繍）》



5 《布袋各様図》松花堂昭乗【巻替えあり】

【第2章】江戸のヒーロー

最近では、節句飾りをすることも減りましたが、5月5日のこどもの日（端午の節句）に飾られ、江戸時代を通して愛された武神をとりあげます。玄宗皇帝を援けた鍾馗や、三国志の武将から中国で一番愛された神へと上りつめた関羽を取り上げ、勇ましくもあり、愛らしくもあるヒーローの姿を紹介します。



6 《鍾馗図》二代葛飾泰斗



7 《関羽図》円山応挙



8 《関羽と周倉図》張月樵

【第3章】仏教の神と仏

仏教の中でも特に禅宗の教えを形にした神や仏を描いた作品を紹介します。美しい遊女や美少年に姿を変えた普賢菩薩や文殊菩薩、江戸時代の絵画ではおなじみの寒山と拾得や達磨など、そのファッションにも注目し、知っているようで知らない神様仏様の姿に着目します。



9《見立普賢菩薩図》山崎女龍（龍女）



11《蓮池観音図》白隠慧鶴



12《和合神図》紀広成



13《牧童図》森周峰



10《達磨図》岩井江雲

【第4章】洛中洛外の瓦鐘馗

京都の家々の入り口の小屋根には、鐘馗を象った瓦人形があげられています。本章では、写真家・服部正実が長年撮りためた瓦鐘馗の写真を紹介します。江戸時代以降、何百年もの間、人々を見守ってきた鐘馗です。瓦屋根が消えつつある昨今、瓦鐘馗の姿も消えつつあります。東京では珍しい瓦鐘馗の姿を知り、古くから私たちを守ってくれた「鍾馗さん」の豊かな表情をお楽しみいただきます。



14《瓦鐘馗（京都市中京区）》（写真）服部正実撮影



15《瓦鐘馗（奈良市北京終町）》（写真）服部正実撮影

企画展「人々を援^{たす}け寄り添う 神と仏 道釈人物画の世界」

- 【会期】 2025 年 11 月 22 日（土）～2026 年 1 月 18 日（日）
前期：2025 年 11 月 22 日（土）～12 月 21 日（日）
後期：12 月 23 日（火）～2026 年 1 月 18 日（日）
- 【開館時間】 10：00～17：00（入館は 16：30 まで）
- 【休館日】 毎週月曜日（ただし 1/12 は開館）、12/29～12/31、1/13 ※年始は 1/1 から
- 【入館料】 一般 1,000 円、大学生・高校生 800 円、中学生以下無料
割引併用不可 ※同会期中のリピーターは 500 円引き（一般、大学・高校生料金お支払いの方のみ）
※20 名様以上の団体は 500 円引き
※障がい者手帳、被爆者手帳をご提示の方とその同伴者 1 名は無料
※お着物（和装）でご来館の方は 300 円引き
※ミュージアムパスポート 5,500 円
※オークラ東京とのセット鑑賞券（ランチセット 6,000 円、茶菓セット 3,100 円）
- 【主催】 公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館
- 【協力】 大成建設株式会社、特種東海製紙株式会社、株式会社ニッピ、株式会社ホテルオークラ
- 【会場】 公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-10-3（オークラ東京前）
TEL:03-5575-5711
<https://www.shukokan.org/>
- 【アクセス】 ・東京メトロ南北線 六本木一丁目駅中央改札口（泉ガーデン方面）より 5 分
・東京メトロ日比谷線 神谷町駅 4b 出口より 7 分
・東京メトロ日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅 A2a 出口より 8 分
・東京メトロ銀座線・南北線 溜池山王駅 13 番出口より 10 分

【展覧会に関するお問い合わせ】

（広報担当）高野明子（学芸補助）（takano.a@shukokan.org）、
（展覧会担当）四宮美帆子（主任学芸員）（shinomi@shukokan.org）

※2 人宛にご連絡下さい

電話：03-5575-5711、FAX：03-5575-5712

【イベント】

■担当学芸員によるギャラリートーク

日時：12/5（金）、12/10（水）、12/25（木）、1/9（金）各 14:00 から（約 1 時間）

担当：四宮美帆子（当館主任学芸員）

会場：大倉集古館 展示室

聴講料：無料（ただし入場には入館券が必要です）

お申込み：不要

■大倉集古館の歴史と建物（スライドトーク＆敷地ツアー）

※雨天の場合は、スライドトークのみとなります。2025/2/21 開催とほぼ同じ内容です。

日時：12/19（金）（約 1 時間 30 分）

担当：四宮美帆子（当館主任学芸員）

会場：大倉集古館、展示室、屋外

聴講料：無料（ただし入場には入館券が必要です）

定員：40 人（事前申込制、先着順）

お申込み：大倉集古館

TEL：03-5575-5711(月～金 10：00～17：00)

【次回展覧会】出光美術館所蔵 茶道具名品展 2026 年 2 月 3 日(火)～ 3 月 22 日(日)

企画展

人々を援け寄り添う神と仏－道釈人物画の世界－
報道内覧会のご案内

2025 年 11 月 21 日（金）（受付）13：30～、（作品解説）13：45～14：30、（終了）15：00

担当学芸員より展覧会のご説明や作品解説を行い、ご質問にお答えいたします。

展示室内をご撮影いただけます。

ご出席いただける場合は、下記フォームにご記入の上、FAX かメールにてご返信ください

返信先 FAX 03－5575－5712

E-mail takano.a@shukokan.org

大倉集古館 高野明子 宛

■ご担当者情報

貴社名	
ご担当職・ご氏名	
電話番号・FAX 番号	
メールアドレス	

■参加者（上記以外）

ご所属・役職名	ご氏名

【会場】大倉集古館 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-10-3（オークラ東京正面玄関前）

- ・東京メトロ南北線 六本木一丁目駅改札口（泉ガーデン方面）より 5 分
- ・東京メトロ日比谷線 神谷町駅 4b 出口より 7 分
- ・東京メトロ日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅 A2a 出口より 8 分
- ・東京メトロ銀座線・南北線 溜池山王駅 13 番出口より 10 分

企画展 人々を援け寄り添う神と仏－道釈人物画の世界－ 展
広報用画像申請書

宛先： 大倉集古館 学芸部 高野明子 宛
FAX： 03-5575-5712
E-mail: takano.a@shukokan.org

■図版使用に際しての注意

- ・本展覧会の紹介を目的とする内容にのみご使用ください。
- ・ご申請いただいた記事・番組に限り、本展の広報用画像の使用が可能です。
- ・使用後のデータは破棄してください。・ウェブ上で使用する場合は、コピーガードを施してください。
- ・画像への文字のせはご遠慮ください。
- ・図版使用の際は必ず作品キャプションを載せてください。
- ・画像使用の掲載誌や放送 DVD は 1 部ご送付ください。

希望	No	作品
	1	《七福神図》島野春彰 昭和・20 世紀 個人蔵
	2	重要文化財《鏤絵寿老図六角皿》尾形乾山作、尾形光琳絵付 江戸時代・18 世紀 大倉集古館蔵
	3	《正月用引札：恵比寿大黒と美人図》 明治・19～20 世紀 個人蔵 【前期展示】
	4	《福祿寿三星図（刺繍）》 中華民国時代・20 世紀 大倉集古館蔵
	5	《布袋各様図巻》（部分）松花堂昭乗 江戸時代・17 世紀 大倉集古館蔵【巻替えあり】
	6	《鍾馗図》 二代葛飾泰斗 江戸時代・文政 13 年（1830） 大倉集古館蔵
	7	重要美術品《関羽図》円山応挙 江戸時代・18 世紀 大倉集古館蔵
	8	《関羽と周倉図》 張月樵 江戸時代・18～19 世紀 個人蔵
	9	《見立普賢菩薩図》 山崎女龍（龍女） 江戸時代・18 世紀 大倉集古館蔵
	10	《達磨図》 岩井江雲 江戸時代・安永 8 年（1779） 個人蔵
	11	《蓮池観音図》 白隠慧鶴 宝暦元年（1751）頃 個人蔵
	12	《和合神図》 紀広成 江戸時代・19 世紀 個人蔵
	13	《牧童図》 森周峰 江戸時代・18～19 世紀 個人蔵
	14	《瓦鐘馗（京都市中京区）》（写真）服部正実撮影
	15	《瓦鐘馗（奈良市北京終町）》（写真）服部正実撮影

貴社名	
ご担当者名	
TEL/Email ご連絡先	
媒体名、発行日	

